



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 福

上場会社名 昭和鉄工株式会社

コード番号 5953 URL <http://www.showa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本駿一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 山根譲治

TEL 092-651-2931

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,750	△11.8	△200	—	△196	—	△226	—
23年3月期第3四半期	8,783	14.7	86	—	89	—	27	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △331百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △112百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	△26.87	—
23年3月期第3四半期	3.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,502	2,439	18.1
23年3月期	13,883	2,788	20.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,439百万円 23年3月期 2,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	10,800	△8.8	10	△88.5	20	△76.5	140	266.2	16.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	8,970,000 株	23年3月期	8,970,000 株
24年3月期3Q	527,699 株	23年3月期	527,221 株
24年3月期3Q	8,442,535 株	23年3月期3Q	8,793,367 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から緩やかな回復基調にありましたが、欧州債務危機の一層の深刻化や円高による景況悪化の経済構造が輸出や国内外の設備投資に影響を及ぼす中、原発事故に伴うエネルギー制約や政治の混乱などもあり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「リカバリー130」の2年目として重点課題である「差別化した新製品・サービスの拡販」に努めるとともに、固定経費の徹底した削減等に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、77億5千万円（前年同期比11.8%減）となりました。

損益面につきましては、ほぼ予算の見込みどおりとなりましたが、前年同期に比べ素形材加工事業部門やメンテナンス関連の後半の売上が伸びず、営業損失は2億円（前年同期は営業利益8千6百万円）、経常損失は1億9千6百万円（前年同期は経常利益8千9百万円）、四半期純損失は2億2千6百万円（前年同期は四半期純利益2千7百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器製品では原子力発電所向け特殊空調機の受注、熱源機器製品では「業務用エコキュート」の受注・売上が拡販努力により順調に推移しました。この結果、当事業の売上高は55億4千6百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、鋳造品は発電機向けガスタービン関連部品の売上が順調に推移しましたが、景観製品は前年同期のような補正予算の前倒し受注という特殊要因がなく、震災の影響で予定していた案件の発注遅れ等もあり低調に推移しました。この結果、当事業の売上高は11億7千4百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

・サーモデバイス事業

サーモデバイス事業につきましては、前期受注案件は順調に出荷・売上計上し、更にグローバル化によるフレキシブルな生産体制構築のため、韓国合弁会社への生産移管を行いました。液晶パネルメーカーの設備投資循環による縮減の影響もあり低調に推移しました。この結果、当事業の売上高は10億2千9百万円（前年同期比43.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億8千万円減少し135億2百万円となりました。主な要因は、売上債権の増加2億5百万円、有価証券の購入による増加1億5千万円と現金及び預金が7億7千万円減少したことなどによります。

負債については、前連結会計年度末に比べ3千2百万円減少し110億6千3百万円となりました。主な要因は、当第3四半期末は前連結会計年度末に比べ直近の資材調達等が少ないため仕入債務が1億2千2百万円減少したことなどによります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ3億4千8百万円減少し24億3千9百万円となりました。主な要因は、四半期純損失2億2千6百万円を計上したことによる減少と株価の下落によるその他有価証券評価差額金の減少9千9百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年11月10日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,882	2,111
受取手形及び売掛金	3,919	4,134
完成工事未収入金	15	5
有価証券	—	150
商品及び製品	255	354
原材料	336	384
仕掛品	880	783
未成工事支出金	19	64
その他	116	117
貸倒引当金	△12	△9
流動資産合計	8,411	8,097
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,678	1,678
その他(純額)	1,583	1,500
有形固定資産合計	3,261	3,179
無形固定資産	93	90
投資その他の資産		
投資有価証券	1,515	1,575
その他	654	622
貸倒引当金	△53	△62
投資その他の資産合計	2,116	2,136
固定資産合計	5,471	5,405
資産合計	13,883	13,502
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,648	2,503
工事未払金	2	24
短期借入金	4,410	4,608
未払法人税等	26	19
その他	757	790
流動負債合計	7,845	7,947
固定負債		
長期借入金	1,161	939
退職給付引当金	1,555	1,605
その他	532	571
固定負債合計	3,249	3,116
負債合計	11,095	11,063

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	318	74
自己株式	△86	△86
株主資本合計	3,098	2,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△286	△385
為替換算調整勘定	△24	△29
その他の包括利益累計額合計	△310	△415
純資産合計	2,788	2,439
負債純資産合計	13,883	13,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	8,783	7,750
売上原価	6,809	6,095
売上総利益	1,973	1,654
販売費及び一般管理費	1,886	1,855
営業利益又は営業損失 (△)	86	△200
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	36	38
持分法による投資利益	13	6
受取手数料	3	—
助成金収入	9	—
その他	35	49
営業外収益合計	100	97
営業外費用		
支払利息	75	67
その他	22	26
営業外費用合計	97	94
経常利益又は経常損失 (△)	89	△196
特別損失		
投資有価証券評価損	23	—
事務所移転費用	1	—
貸倒引当金繰入額	1	12
特別損失合計	25	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	64	△208
法人税、住民税及び事業税	36	18
法人税等合計	36	18
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	27	△226
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	27	△226

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	27	△226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	△99
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△5
その他の包括利益合計	△140	△104
四半期包括利益	△112	△331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112	△331
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サーモデバイス事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,399	1,566	1,817	8,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	182	172	—	354
計	5,581	1,739	1,817	9,137
セグメント利益又は損失 (△)	△55	△30	172	86

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	86
四半期連結損益計算書の営業利益	86

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サーモデバイス事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,546	1,174	1,029	7,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50	8	—	59
計	5,597	1,183	1,029	7,810
セグメント利益又は損失 (△)	△102	△153	55	△200

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△200
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△200

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。